

自校調理の小中学校給食

段階的に民間委託へ

市方針

福井市は7日、自校で給食を調理している小中学校について、調理業務を段階的に民間に委託する方針を説明した。経費削減を図るため、調理技師の定年退職に合わせて進める。【2面に本記】

大規模校を中心に民間委託を進め、18年度までに5小学校で完了。19年度は森田小で始める予定で、18年度比で年間約800万円の経費削減を見込んでいる。

なう美山学校給食センターは市が直接運営。調理技師は任期付きや再任用を除き46人(18年4月時点)で、50代の職員が大半を占めるといふ。07年度以降、調理技師は新規採用していない。

市保健給食課によると、自校調理の33小中学校(うち併設4校)と美山地区4小中学校をまかすため、献立作成や食

材調達には市が行い、調理業務のみ委託する。段階的に進めていきたい」と説明した。

一方、残る26小中学校(同一校)については、ともに民間委託している北部、南部の両学校給食センターで調理しているため、本年度は新学校給食センターの基本計画を策定する予定だったが、財政難に伴い先送りした。

今後、新たな学校給食センターの実施方針を立てる中で、民間委託を含めた学校給食運営全体の在り方を考えていくとしている。(大久保直輝)